

ケーシー・高峰 & ヨネスケ

爆笑二人会



ゲストマジック広和

2013

12月14日(土) 大田原市ピアートホール

14:00 開場 / 14:30 開演

○入場料 / **2,500円** 全席指定

未就学のお子さまはご入場いただけません

○チケット / 平成25年10月16日(水)
午前10時 販売開始

○プレイガイド / 大田原市ピアートホール、大田原市那須与一伝承館、ハートボックス(若草本店、なすの店、黒磯店)、弓座呉服店、商美社、キャプテンハウスおおもり、ミモリレコード(※那須塩原市)、金子書店(※那須町)

○電話予約 / 平成25年10月16日(水)午後1時~ 受付開始
大田原市ピアートホール
TEL0287-59-0856 (受付は午後5時まで)

※電話予約受付開始日は混雑することが予想されますのでご了承ください。
※プレイガイド窓口販売が優先のため完売の際はご了承ください。

お問い合わせ ▶ 大田原市ピアートホール TEL0287-59-0856

ケーシー・高峰【漫談】



本名 / 角脇貞夫
生年月日 / 昭和9年2月25日
血液型 / AB型
出身地 / 山形県最上町

リーガル天才門下に弟子入りし修行する。司会業から漫談家に転じ、昭和43年からテレビの「おいろけ寄席」にてデビューし、医事漫談をはじめ、「セニョール・グラッチェ」のギャグで漫談家の地位を確立。ユニークなキャラクターからファンの心をつかみ、人気者となる。その後俳優に転じ、45年「冠婚葬祭入門」で映画デビュー。52年にはNHK「オリンポスの果実」でテレビドラマにデビュー。出世作は56年のNHK「ドラマ人間模様 新・事件」の出稼労働者役で、人生の哀感をにじませた演技が注目された。映画でも次第に演技派として頭角を現し、脇役として貴重な存在となる。昭和57年NHKのテレビ「夢千代日記」以来、渋い役者としての道を歩む。その他の出演に「春の波濤」「遠山の金さん」「火曜サスペンス」シリーズ、映画「寅さん」シリーズ、「楳山節考」などがある。現在は、テレビを中心として映画、舞台に活躍するかたわら講演活動も精力的にこなす。話題の豊富さとユーモアいっぱいの公演は楽しく面白い。老若男女を問わず多くの人を楽しませている。

ダーク広和【マジック】



本名 / 萩原浩一
生年月日 / 1958年12月23日
血液型 / A型
出身地 / 神奈川県横浜市

テーブルマジックからイリュージョンまで…

高校卒業後、故ダーク大和師に弟子入りし、内弟子、四年を経て、1980年ダーク広和としてソロ活動を始める。以来、テーブルマジックからおしゃべりを中心としたコミカルなマジック、そして大道具を駆使したステージマジックとオリジナリティーあふれる演技をこなす、プロ中のプロのマジシャン。
(社)日本奇術協会の理事を務める。

ヨネスケ(桂 米助)【落語】



本名 / 小野五六
生年月日 / 1948(昭和23)年4月15日
血液型 / O型
出身地 / 千葉県市原市

高校卒業後、1967(昭和42)年、桂米丸氏に弟子入り。内弟子として噺はもちろんのこと、箸の上げ下げから礼儀を仕込まれる。

1967(昭和42)年、浅草演芸ホールでデビュー。

1971(昭和46)年4月、二つ目に昇進。

1981(昭和56)年10月、真打ちに昇進。

1982(昭和57)年1月、放送演芸大賞ホープ賞を受賞。

1989(平成元年)年1月より、古館プロジェクトに所属。

その人情味あふれるキャラクターで幅広い年齢層に親しまれ、日本テレビの「突撃!隣の晩ごはん」では、全国津々浦々の家庭にいきなり訪問。アポなし訪問ながら、最終的に歓迎されてしまうのは、やはりヨネスケの人柄によるものでしょう。また、その話芸はもちろんのこと、そこから繰り出されるヨネスケ独特の野球論は、ジャイアンツのファンだけでなく、野球ファン全体をも魅了している。本職である、落語ではヨネスケ流「野球落語」を創作、披露している。寄席も数多くこなし、講演会やトークショーも「突撃!隣の晩ごはん」の裏話や「スポーツ」などをテーマに全国各所にて行っており、今後もジャンルを越えた大いなる活躍が期待される。

交通アクセス

